

横浜市立
桜岡小学校
5年
和泉章彰

盲導犬って何？

盲導犬は目の見えにくい・見えにくい人が行きたい時に行きたい所へ出かけられるように、障害物を避けたら段差や角を教えたり安全に歩くためのお手伝いをしてくれる犬です。「道交法」や「身体障害者補助法」という法律で認められていて、目の見えにくい・見えにくいと一緒に電車やバスに乗ったりお店に入る事ができます。現在全国で836頭の盲導犬が活躍しています。(2023年3月31日 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会・自立支援部盲導犬委員調べ)

ぼくは小さい頃から電車が大好きで、休みの日には色々な電車に乗りに行ったり、車両を見に行ったりしています。今年の3月に東急線と相互乗り入れが始まりさらに便利になった相鉄線。相鉄線系ではホームドアも次々に言及置され、安全な駅へと進化しています。夏休みに盲導犬のユーザーである萩原 徹さんと愛犬のピアちゃんにも協力してもらい、「みんな」にとって安全で使いやすい金失道について言周べ、考えてみました。

盲導犬と一緒に電車に乗ってみた！

萩原さんは盲導犬の「ピア」を連れて毎日電車で通勤しています。自動改札もエスカレーターも電車の乗り降りも思ったよりかなりスムーズで驚きました。でも実際一緒に電車を利用してみると混雑した電車の車内でどの辺りに立っているのが安全なのか分からなかったり電車を降りた後、次々に人が車内から降りてくるホームがとても危ないと感じました。電車に乗降する人を避けているうちに方向が分からなくなってしまうのではないかと心配になりました。そしてホームドアがあるのはとても大きな安心につながると思いました。一緒に歩いていて一番驚いたのは、横に盲導犬がいるのにエスカレーターで後ろから歩いて抜かしていく人がいた事です。また、盲導犬はカーナビの様にユーザーを目的地に連れて行ってくれる訳ではないのだという事、盲導犬を連れていてもエスカレーターの向きやホームの整列位置は分からないのだという事を教えてもらい、初めて知りました。



駅に行って調べてみた

「歩きエスカレーター」についてとても危険だと感じたので、実際にどの位の人がエスカレーターで歩いているのか2023年8月17日相鉄線系の海老名馬車の改札から小田急線に向かうエスカレーターで調べてみました。

	【上り】	【下り】
12:10~20(10分間)	21人	56人
13:30~40(10分間)	25人	42人

予想外に上りよりも下りの方が歩く人が多いという結果でした。エスカレーターで歩くのと階段を利用するのと時間はどちらも同じ11秒でした。安全のためにも健康のためにも、急ぎたい人は階段を使うとよいと思います。エスカレーターで調べていると「歩きスマホ」の人も目立ちました。そこで14:00~14:10の10分間の相鉄線海老名駅の「歩きスマホ」の人数を調べてみると、何と72人もの人が「歩きスマホ」をしていました。また若い人を中心にイヤホンをつけながら画面を見ている人たちも多くとても危険だと思いました。

相鉄線系の取り組み

相鉄グループでは2006年から盲導犬の育成・普及のために募金やチャリティ活動に取り組んでおり、今までに13頭の盲導犬を呈呈しています。萩原さんのピアちゃんも相鉄グループから呈呈された盲導犬です。また、今年の3月からは「金失道駅バリアフリー料金制度」を取り入れ、駅のバリアフリー設備を充実させたり、現在あるバリアフリー設備の維持のために活用する取り組みが始まっています。

相鉄線系 車両の進化

8000系(1990年~)



パッと見て分かる様に優先席のシートやつり革の色が違ふ。入り口付近の点字ブロックはない。

12000系(2019年~)



↑ ホームの整列乗車位置マーク

各車両に車いすスペースと優先席。優先席は立ち上がりやすい様にひじかけつきで座面も高め。入り口付近には防犯カメラや点字ブロック付き。どちらの車両も優先席の位置が一目で分かる工夫がしてありましたか？目が見えにくい人にも優先席の場所が分かるようになるともっといいなと思いました。

編集後記



今回初めて萩原さん、ピアちゃんと一緒に電車に乗って、ホームや車両の今まで気になかった「みんな」が快適に利用するための色々な工夫に気付きました。ホームドアを1つのホームに10両編成対応のものを設置するには何と約6億円もかかるかと相鉄グループCSから回答をもらい、びっくりしました。ぼくたちの使い方次第で安全対策はますます効果が出ると思うので、まずは「エスカレーターを歩かない」「歩きスマホはない」という自分出来る事から、かりず安全に電車を利用したいと思いました。今回取材にご協力いただいた萩原さん、ピアちゃん、そして相鉄線海老名駅のCS担当の皆様どうもありがとうございました。